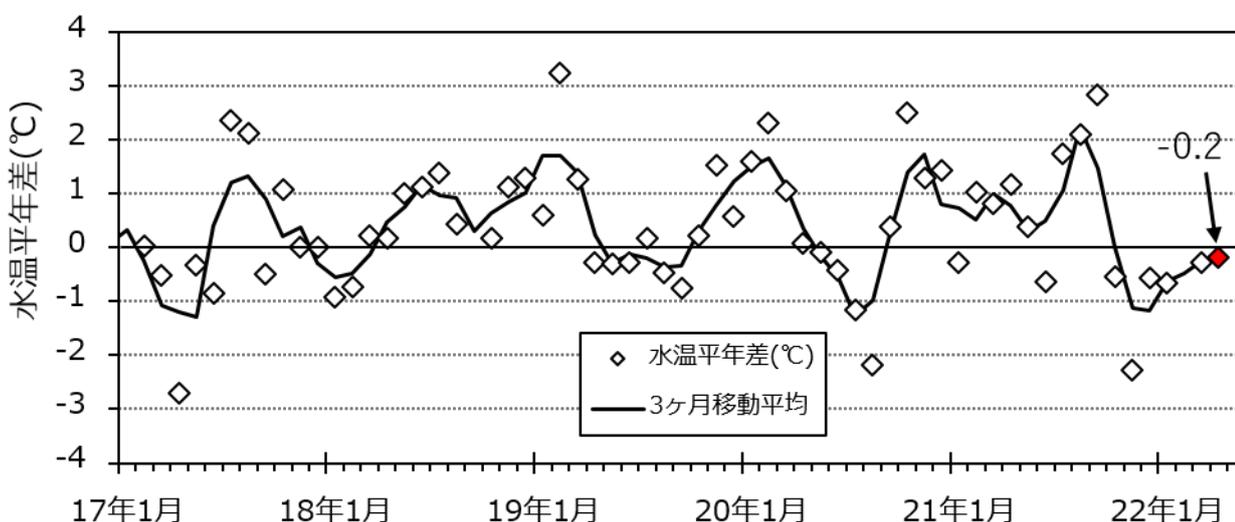


【水温の変動】

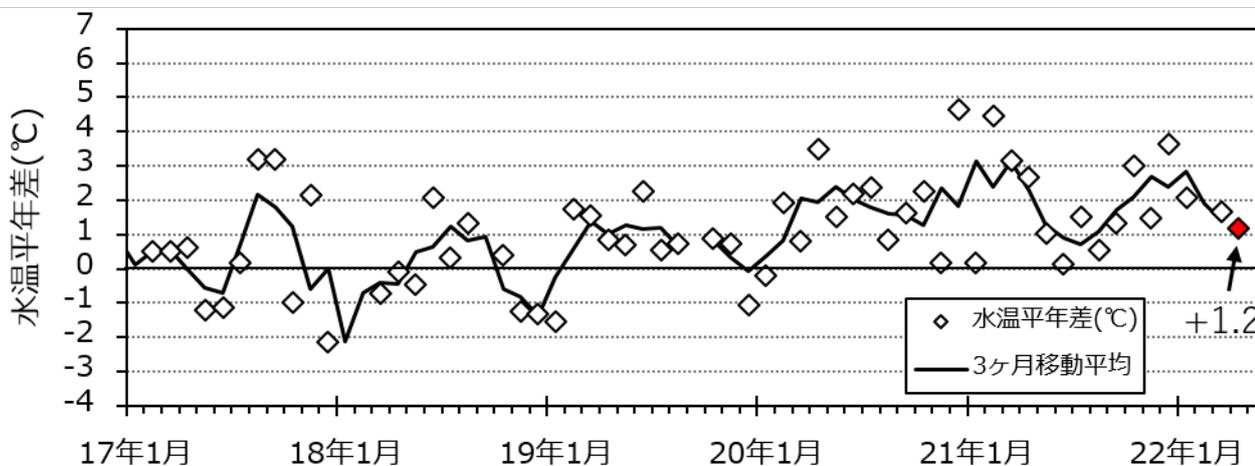
4月7、8日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差 -0.2°C で平年並みとなっています。沖合域は平年差 $+1.2^{\circ}\text{C}$ でやや高めでした。4月7日の人工衛星画像によると、黒潮は、潮岬沖の北緯30度付近まで南下し、遠州灘沖の北緯33度付近までS字状に北上した後、八丈島付近を通過して房総半島沖へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖の北緯33度以北を通過するAs型流路となっています。現在、黒潮が熊野灘に接近しているため、沖合では高温傾向となっていますが、ごく沿岸部は低温となっています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

※A19は欠測

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 14.2~21.2℃、水深 100m で 14.3~17.0℃、水深 200m で 11.5~14.5℃となっていました。水温の鉛直断面図をみると、各水深で等温線の傾きが大きく、東向き強い流れがある模様です。クロロフィル a 濃度は、渥美外海 (A10) の水深 10m 付近で高くなっています。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

